

(別紙5)

整理番号 2022P-126
補助事業名 2022年度 実践的研究を通じた人間力育成支援活動 補助事業
補助事業者名 飯塚市立飯塚第二中学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

○SDGsに関する体験的な学習，多文化共生のための体験的な学習，芸術鑑賞会を通して，持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力の育成。

○1人1人がSDGsを「自分ごと」として捉え，考え，行動を起こそうとする生徒の育成。

(2) 実施内容

「SDGsに向かう二中」 (<https://www.city-iizuka.ed.jp/dai2/calendar>)

ア SDGsに関する体験的な学習



地域創生ワークショップ



貿易ゲーム

地域創生ワークショップでは、「人口，経済，環境，暮らし」面から多様な立場で考え、「持続可能な」都市を目ざした。貿易ゲームでは，自由貿易や経済のグローバル化が引き起こすさまざまな問題に気づき，南北格差や環境問題の解決に向けて，国際協力のあり方や、私たち一人ひとりの行動について自分ごととして体験的に考えた。

イ 多文化共生のための体験的な学習



100人村ワークショップ



多文化共生ワークショップ

(別紙5)

100人村ワークショップでは、世界の現実について体験的に学び、現状に目を向け、様々な「ちがい」を認め合う態度を身につけた。多文化共生ワークショップでは「世界の観方を変える」をキーワードに、宗教観、家族観、労働観など外国が日本とは異なる〇〇観で生活していることを知り、アフリカを中心とした世界地図や面積の正しい世界地図を通して改めて世界を見つめ、新しい気づきを得ることができた。

ウ 異文化体験芸術鑑賞会



芸術鑑賞会



ジャパンマーベラス

ここ飯塚から日本を飛び出して国際的に活躍している和太鼓を中心とした和楽団ジャパンマーベラスの演奏を鑑賞し、その迫力ある演奏に感動するとともに、地域や自国へのアイデンティティーを高めた。

エ 校外学習



九州国立博物館訪問



SDGs企業訪問

太宰府にある九州国立博物館訪問では、日本とアジア、ヨーロッパとの文化交流の歴史に触れ、伝統文化や異文化交流に関する考えを深めた。SDGsに積極的に取り組んでいる企業訪問では、SDGsは企業の奉仕活動によって実現するものではなく、企業の生産活動の一部として成り立っていることに深い気づきがあった。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

「SDGsに向かう二中」を重点目標にした令和3年度から2年間の本校の事業の成果は、生徒1人1人がSDGsを「自分ごと」として捉え、考え、行動を起こそうとするようになったことである。生徒1人1人の行動は、具現化している部分、していない部分それぞれ違いはあるが、継続して取り組むことによって、さらに素晴らしい成果を上げること、ひいては持続可能な社会の創り手となることが期待される。また、SDGsという言葉が、家庭・地域社会にも浸透した。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

特になし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

令和4年度実践紹介リーフレット

https://www.city-iizuka.ed.jp/dai2/userfiles/page_contents/77a2dc95d7841f726deaf7999990a2bb.pdf

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 飯塚市立飯塚第二中学校
(イイツカシリツイイツカダイニチュウガッコウ)
住 所： 〒820-0011
飯塚市柏の森438番地
代 表 者： 校長 猿渡 和則 (サルワタリ カズノリ)
担 当 者 名： 教頭 大里 昌輝 (オオサト マサキ)
電 話 番 号： 0948-22-3713
F A X： 0948-22-3909
E - m a i l： iizuka2nd.j@city-iizuka.ed.jp
U R L： <https://www.city-iizuka.ed.jp/dai2/>